

# お母さんと僕のまほうの砂箱

すなばこ

はったっしょうがい

ぼしどうじはこにわりょうほう

発達障害と母子同時箱庭療法

2019年6月刊行予定

文：大住 誠 絵：北 洋子

解説：朝倉 新・大住 誠

◎ 子どもの発達障害 (ASD、ADHD、LD) について、母と子で取り組む箱庭療法について、やさしく理解できる絵本です。

【あらすじ】 発達障害（神経発達症）は、大きく分けて、自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如多動症（ADHD）、限局的学習症（LD）があります。

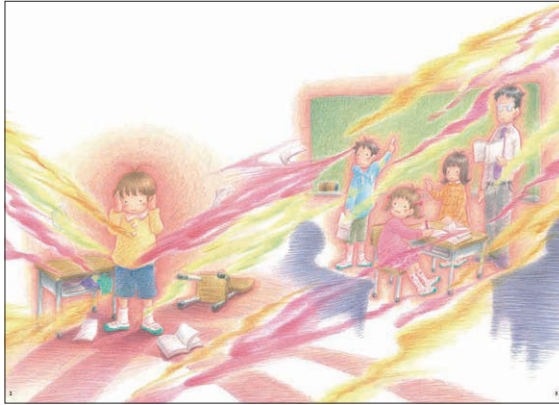
主人公のさとり君は、ASDの特性で音が気になってしまう感覚敏感があります。学校の授業を落ち着いて受けることができません。また家でも、ADHD（注意欠如多動症）のため、片付けや宿題ができない、ゲームに必要以上に夢中になってしまう、などの問題が出ています。お母さんは心配でなりません。

さとり君とお母さんは、訪れたクリニックで「箱庭療法」に出会います。箱庭療法は、遊びを中心とする心理療法（遊戯療法）のひとつとして、3歳児から高齢者まで、世界中の医療・教育・福祉の分野で幅広く行われている療法です。絵本では、母子でいっしょに箱庭療法に取り組む「母子同時箱庭療法」を紹介しています。さとり君とお母さんは治療を通して、だんだんと落ち着いていくようになります。

(B5判上製／定価：本体2,000円＋税) / 56頁  
ISBN978-4-8433-5558-9 C0011

ゆまに書房

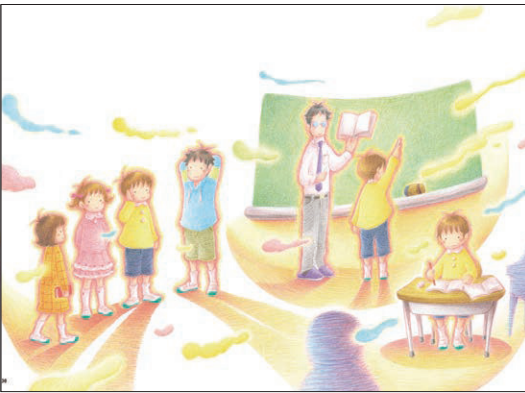
# ◎ 子どもの発達障害が落ち着くように ——母と子でいっしょに取り組む箱庭療法



・ **子どもの発達障害について**  
 さとるくんは、神経発達症である自閉スペクトラム症（ASD）と注意欠如多動症（ADHD）の特性を持っています。ASDの特性で聴くことが敏感すぎるため、授業に集中できず、ADHDのため片付けなどが上手にできません。



・ **箱庭療法について**  
 「箱庭療法」は、3歳児から高齢者まで、世界中の医療・教育・福祉の分野で行われている遊戯療法です。この絵本では、母と子でいっしょに治療を行う「母子同時箱庭療法」。治療者が瞑想することによってクライアントの回復を促す「瞑想箱庭療法」について紹介しています。



・ **回復にむかって**  
 箱庭療法を重ねて行くことで、さとるくん、お母さんの気持ちは安定していきます。さとる君は前より落ち着いて過ごすことができるようになり、お母さんも不安が減り、大きくやさしい気持ちで過ごすことができるようになりました。

## ◎本書の特色

- ・ 発達障害の子どもがその母親と共に取り組む「母子同時箱庭療法」をやさしく紹介した絵本です。
- ・ 「母子同時箱庭療法」の具体的な療法過程など、子どもや母親の気持ちの変化、回復にむけた様々な場面を描いています。
- ・ 治療者の瞑想によってクライアントの回復を促す「瞑想箱庭療法」についても紹介しています。
- ・ 自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如多動症（ADHD）、など、子どもの発達障害についても解説でくわしく説明します。



〒101-0047  
 東京都千代田区内神田2-7-6  
 TEL .03 (5296) 0491  
 FAX.03 (5296) 0493  
<http://www.yumani.co.jp/>  
 e-mail eigyou@yumani.co.jp

### ● 特におすすめしたい方

養護教諭、スクールカウンセラー、教員、相談機関、医療機関、児童相談所、学校図書館、公共図書館、大学図書館、子どもにかかわるすべてのかたへ。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

ご注文書	お母さんと僕のまほうの砂箱——発達障害と母子同時箱庭療法		取扱店
	●定価：本体2,000円＋税 ISBN978-4-8433-5558-9 C0011		
お名前			
ご住所			
TEL ( )			